

発表日時：令和4年9月15日（木）14時（資料配布）

解禁日時：令和4年9月16日（金）0時

公益社団法人 日本測量協会

令和4年度「空間情報総括監理技術者」

資格認定試験（第18回）に13名が合格

公益社団法人日本測量協会（会長 ^{しみず}清水 ^{えいはん}英範）は、令和4年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の合格者を9月16日に発表します。

今年度の合格者は13名で、平成17年からの累計合格者は425名になります。

本試験の結果は別紙1.2のとおりです。

○その他参考資料

資料1 「空間情報総括監理技術者」資格について

資料2 「空間情報総括監理技術者」認定試験の実施について

○参考： ホームページ「空間情報総括監理技術者のページ」

<https://www.jsurvey.jp/gissv/gissv.htm>

（問い合わせ先）

公益社団法人 日本測量協会

〒112-0002 東京都文京区小石川1-5-1 パークコート文京小石川 ザ タワー 5階

測量継続教育センター 測量技術教育部長 岩田昭雄 電話 03-5684-3357

令和4年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の結果

公益社団法人日本測量協会は、国土管理の業務を効果的に遂行するため、空間情報分野の高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、空間情報を利活用するための製品・品質仕様の策定、運用管理の立案を行うに十分な能力を有する技術者を認定する空間情報技術委員会（委員長 金沢工業大学 教授 鹿田^{しかだ}まさあき 正昭）を設置し令和4年度の「空間情報総括監理技術者」資格認定試験を実施しました。

令和4年度認定試験には106名の応募があり、98名が書類審査の条件を満たし、93名が筆記試験を受験しました（5名欠席）。

筆記試験（7月23日）に合格し、かつ、面接試験（9月10日）に合格した最終の合格者は13名であり、平成17年から令和4年の合格者を合せると425名になります。

技術認定合格者で認定請求のあった者は、認定者登録原簿に登録され、日本測量協会の「地理空間情報専門技術者」の上位クラスの技術者として、「空間情報総括監理技術者」を称することができます。

本資格の有効期間は5年で、資格の更新には、「測量技術者継続教育証明制度（測量CPD）」の所定のCPDポイントの取得が条件となります。

※令和4年3月末現在の測量CPD登録者数 24,791人

公益社団法人日本測量協会は、空間情報技術に関する各種提案型入札業務の指名の際に、この「空間情報総括監理技術者」が活用されるよう関係機関に働きかけておりますが、これまでに、国土地理院の入札、（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）の入札、地方公共団体の都市計画図作成業務委託や道路台帳整備業務において当該有資格者が管理技術者等として活用されております。また、平成23年度には国土地理院から「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格」として空間情報総括監理技術者が登録されました。

今後、ますます地理空間情報活用推進基本法の関連業務に適合する資格として、各種の空間情報整備事業においても更なる活用が期待されています。

〈筆記試験問題〉

平成20年度から公表している空間情報総括監理技術者資格認定の筆記試験問題は、今年度は令和元年度（第15回）に行われた筆記試験問題を日本測量協会のホームページで公表します。

◆ 合格者		13 名
◆ 合格率（対・応募者数）		12.3%

<u>合格者</u>																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="border: 1px solid black; padding: 2px;">受験番号</th> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-005</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-007</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-013</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-033</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-038</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-040</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-044</td> </tr> </table>	受験番号	22-005	22-007	22-013	22-033	22-038	22-040	22-044	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="border: 1px solid black; padding: 2px;">受験番号</th> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-049</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-053</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-067</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-072</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-092</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">22-099</td> </tr> </table>	受験番号	22-049	22-053	22-067	22-072	22-092	22-099
受験番号																
22-005																
22-007																
22-013																
22-033																
22-038																
22-040																
22-044																
受験番号																
22-049																
22-053																
22-067																
22-072																
22-092																
22-099																

1. 応募者		106 名
この内、		
書類審査による受験資格の条件を満たした者		98 名
受験資格の条件を満たさなかった者		8 名
2. 筆記試験（7月23日（土）実施）		
受験資格者		98 名
受験者		93 名（欠席者 5名）
合格者		13 名
3. 面接試験（9月10日（土）実施）		
受験資格者		13 名
受験者		13 名
合格者		13 名

「空間情報総括監理技術者」資格について

公益社団法人日本測量協会

公益社団法人日本測量協会は、従前の測量専門技術認定（平成 21 年度から地理空間情報専門技術者に名称変更）に加え、平成 17 年度に「空間情報総括監理技術者」資格を創設しました。

「空間情報総括監理技術者」の資格は、測量の技術領域が空間位置と関係づけられた様々な情報を扱う技術へと発展し、また、利用される領域が国土から社会生活に至るまでの広がりを見せていることを背景にして、空間情報の関連事業の企画・提案・監理の能力を有する技術者を認定するための制度です。

「空間情報総括監理技術者」の有資格者は、日本測量協会の「地理空間情報専門技術者」のさらに上位のクラスの技術者として日本測量協会会長が認定します。

認定された「空間情報総括監理技術者」は地理空間情報分野の高度な技術が求められる計画（調査）・解析、技術監理等の技術的な役割を担う技術者です。

1. 資格制度の目的

地物の位置定義に関わる測量の技術領域が、高度情報化時代において大きな広がりを見せています。測量技術がこれからの社会の要請に応えるには、空間的広がりを持つ地球上の位置と、それに直接的または間接的に関連付けられる様々な情報を扱う「空間情報技術」として捉えることが必要になっています。

また、空間情報は、データの作成過程を明確にするだけでは調達するのが困難なため、使われ方（要求仕様）と、調達しようとするデータの仕様と品質（製品仕様、品質仕様）を明確にすることが重要です。このことから、空間情報の仕様策定、取得、構築から、システム運用、データのライフサイクルにわたる情報管理など、広範囲な技術を駆使できるスーパーバイザが必要になっています。

このことを背景にして、国土管理に必要な様々な業務を効果的に遂行するため、空間情報分野に関する高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、かつ、空間情報を利活用する要求に対して、問題抽出・分析に基づく要求仕様の策定、製品仕様・品質仕様の策定、運用管理の立案、様々な技術・技術者のコーディネート等の業務を行うに十分な能力を有する者を認定することを目的とします。

2. 求められる要件

空間情報総括監理技術者に求められる要件は、以下のとおりです。

① 要求仕様の策定ができること

行政が事業を行う場合に、現状の課題を発見し、課題の解決に空間情報の適用が有効か否かを判断し、発見された課題を詳しく分析・明確化することにより、業務に必要な空間情報の仕様と空間情報を利用する場合の効果を提示する能力を有すること

② 製品仕様・品質仕様の策定ができること

業務の課題解決に必要なデータやシステムの設計ができること

③ 運用管理計画を立案し、業務を遂行できること

構築された空間情報を継続的に利活用するために、システムとデータの維持管理方法を立案し、様々な技術・技術者をコーディネートして、適切な事業を行うことができること

3. 有資格者の活用

国土交通省（本省）、国土地理院、地方農政局、森林管理局、独立行政法人、（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）および地方公共団体が発注する提案型業務等における評価要素の一つとして有資格者を活用していただいています。さらに今後とも引き続き、より多くの計画（発注）機関に本資格精度を活用していただけるよう、関係機関に働きかけていきます。

4. 受験資格

受験資格は、次のすべての条件を満たすものとします。

- ① 測量士の資格を有すること
- ② 技術士の資格または博士の称号、またはこれらと同等の能力を有すること
- ③ 空間情報関連業務に15年以上従事し、かつ、当該業務の責任者（原則として主任技術者）を2回以上経験していること

5. 認定試験

筆記試験及び面接試験を行い、以下の能力を判定します。

- ① 空間情報技術に関連する知識および経験を有しているか
- ② 空間情報技術の応用力・構想力・提案力・説得力・監理力を有しているか
- ③ 業務を遂行できる人格・責任感・リーダーシップを有しているか

[お問い合わせ先]

お問い合わせは、お電話またはEメールにてお願いします。

公益社団法人日本測量協会 測量継続教育センター 測量技術教育部
空間情報総括監理技術者認定試験 事務局

T E L : 03-5684-3357

E-mail : geoinfor@jsurvey.jp

令和 4 年度 空間情報総括監理技術者資格認定試験の実施について

公益社団法人日本測量協会の定款第 4 条に定める事業のうち、空間情報総括監理技術者の資格認定試験を、次のとおり実施しました。

1. 試験日時

筆記試験 令和 4 年 7 月 23 日（土）

（試験時間は、別途、受験者に通知）

面接試験 令和 4 年 9 月 10 日（土）

（試験時間は筆記試験合格者に通知）

2. 筆記試験受験地 東京都・北海道・宮城県・大阪府・福岡県

3. 面接試験受験方法 Web 会議システムによるオンライン方式

4. 受験願書の受付期間

令和 4 年 5 月 2 日（月）から令和 4 年 5 月 31 日（火）

土・日及び祝日は、受付事務は行っていません。

ただし、郵送の場合は、消印が 5 月 31 日（火）までの日付であれば受け付けます。

5. 受験案内の入手方法及び受験願書の提出先

受験案内の入手方法 当協会のホームページからダウンロード

受験願書の提出先 公益社団法人日本測量協会

測量継続教育センター 測量技術教育部

6. 合格発表日時

当協会のホームページに掲載（合格者）・本人に結果（合否）を通知

筆記試験 令和 4 年 9 月 2 日（金）

面接試験 令和 4 年 9 月 16 日（金）

【お問い合わせ先】 お問い合わせは、お電話または E メールにてお願いします。

公益社団法人日本測量協会 測量継続教育センター 測量技術教育部

空間情報総括監理技術者認定試験 事務局

T E L : 03-5684-3357

E-mail : geoinfor@jsurvey.jp